

# 金沢市近郊 私立大学等の特色化推進プラットフォーム 中長期計画

(2019 年度～2023 年度)

金沢市近郊には、私立の高等教育機関（以下、私大等）が集積し、これまで各々の特色を打ち出し入学者の確保に努め、教育・研究を通じて社会に人材を輩出してきた。しかしながら、18歳人口激減期に入り、これまでと同様の取り組みでは、入学者の確保が困難な時代に突入したといえる。

そのため、歴史都市・金沢という全国的知名度の高い地域に所在する私大等として、改めてこの魅力を見つめ直すことに加えて、私大等の特色を統合化して総合大学としての機能を生み出し、学都金沢ブランドを構築することが必要といえる。また、激変する社会において、Society5.0社会の到来やSDGsの展開など、大学を取り巻く環境が大きく変化することに伴い、リカレント教育の重要性が示されている。つまり、これまでの二十歳前後の学生だけのキャンパスから、社会人が活用できるキャンパスへの転換期ともいえる。

そこで、金沢市・白山市・野々市市・内灘町等で構成する石川中央都市圏内に所在する私大等・自治体・産業界が連携し、「質の高い特色ある教育の実施」、「住みやすさ日本一の圏域」「地域・産業の活性化」に取り組み、全国的に通用する「学都金沢」ブランドの確立を目的とした「金沢市近郊 私立大学等の特色化推進プラットフォーム」（以下、本PF）を形成する。本PFの取り組みの結果、世界に通用する国際教養力を有し、イノベーション力を備えた人材が輩出されることになる。

金沢市近郊 私立大学等の特色化推進プラットフォーム 構成団体

区 分	団 体 名		
私立大学	金沢医科大学 金沢工業大学 北陸学院大学 金沢星稜大学女子短期大学部 国際高等専門学校	金沢学院大学 金沢星稜大学 北陸大学 金城大学短期大学部	金沢学院短期大学 金城大学 かなざわ食マネジメント専門職大学* 北陸学院大学短期大学部
自治体	金沢市、白山市、野々市市、内灘町		
産 業 界	金沢商工会議所、白山商工会議所、野々市市商工会、 一般財団法人北陸産業活性化センター		

\*令和3(2021)年10月11日より参画

■令和元年9月20日（令和5年9月21日改訂）■  
金沢市近郊 私立大学等の特色化推進プラットフォーム

# 目 次

1. 本 PF の目的と主な取組内容 .....	2
2. 石川県内の高等教育機関について .....	2
3. 本 PF の特徴.....	2
4. 本 PF の高等教育機関の現状と課題 .....	3
5. 特定地域の現状と課題 .....	3
6. 高等教育機関と特定地域の連携.....	5
7. 本 PF の達成目標 .....	5
8. 本 PF の主な取り組み内容.....	5
9. 本 PF 活動における指標と目標値.....	6
10. 本 PF によるアウトカム指標 .....	7
11. 運営体制 .....	7
12. 評価体制 .....	8
13. 2019 年度～2023 年度のロードマップ .....	9
① 各年度の主な事業計画 .....	9
② 各年度の活動指標と目標値 .....	10
参考：ワーキンググループの設置.....	11
<b>■参加大学等一覧 .....</b>	<b>12</b>

## 1. 本 PF の目的と主な取組内容

本 PF では、金沢市・白山市・野々市市・内灘町等で構成する石川中央都市圏内に所在する 13 校\*全ての私立大学等が、自治体・産業界と連携し、

- ・ 質の高い特色ある教育に向けた検討と実施、
- ・ 石川中央都市圏ビジョンに示されている「住みやすさ日本一の圏域」に向けた私大等としての役割の推進、
- ・ 地域と産業の活性化に寄与、

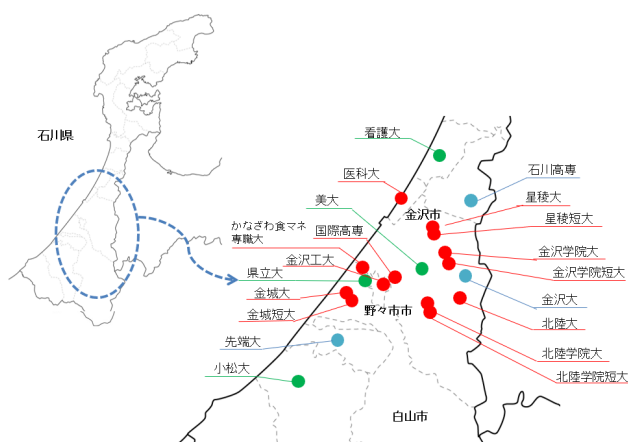
に取り組み、全国的に通用する「学都金沢」ブランドの確立を目的とする。

本 PF の主な取組事項は次の通り。

- (1) 教育の質向上に向けた各大学の資源の共有化ならびに集中に関すること
- (2) 異なる専門分野の連携による新たな価値創造に取り組むこと
- (3) 類似する専門分野の連携による強みの相乗効果による教育の質向上を図ること
- (4) 石川県内への進学促進に関すること
- (5) 初等中等教育機関との連携及び協力に関すること

## 2. 石川県内の高等教育機関について

石川県は 19 の自治体で構成されており、この内、8 つの自治体に 20\*校の高等教育機関が所在している。その法人内訳は、国立 3 校、公立 4 校、私立 13\*校で、学生総数は 3 万 4 千人\*となり、石川県全人口の 3%を占めている。



	国立	県立	市立	私立大学	私立短大・高専	計
金沢市	金大		美大	金沢学院大 星稜大 北陸学院大 北陸大	金沢学院短大 星稜短大 北陸学院短大 国際高専	10
白山市				金城大 かなざわ食マネ 専職大*	金城短大	3
野々市市		県立大		工大		2
内灘町				医科大		1
津幡町	石川高専					1
かほく市		看護大				1
能美市	先端大					1
小松市			小松大			1
石川県	3	2	2	8	5	20

\* 令和3年10月11日より参画

## 3. 本 PF の特徴

本 PF の特定地域は、金沢市・白山市・野々市市・内灘町の 3 市 1 町であり、各々が隣接した位置関係にある。この特定地域に私立の大学・短大・高専の 13\*校が所在しており、本 PF を構成している。この 3 市 1 町の人口は石川県総人口の 58%\*\*、高等教育機関数でいえば 80%\*(20 校)を占めている。本 PF の学生数は県内総学生数の 57%\*を占めており、その専門分野は、人文科学、社

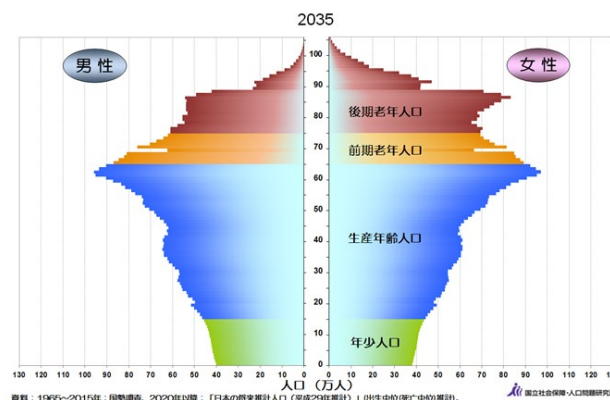
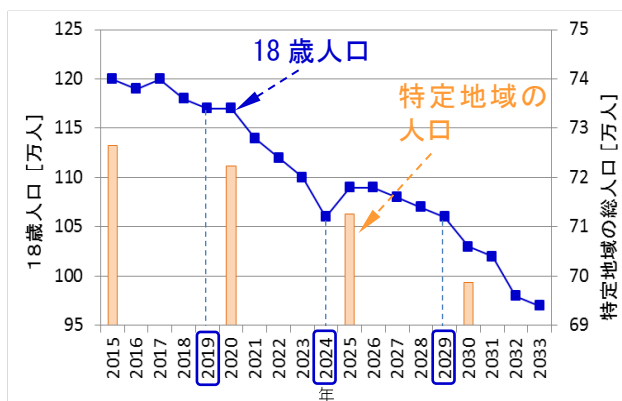
\* 令和 3 年 10 月 11 日より「かなざわ食マネジメント専門職大学」の参画により変更

\*\* 令和 3 年 5 月 1 日現在「石川県の人口と世帯」(石川県 HP)より算出

会科学、医学、薬学、理学、工学、保健、家政、芸術、食、総合・新領域の全ての分野をカバーしている。この様に、本PFで特定地域とする金沢市近郊の3市1町は、地方都市にあって類を見ない高等教育機関数・学生数を誇っており、学園都市「学都金沢」の一翼を担っている。

#### 4. 本PFの高等教育機関の現状と課題

2020年以降、日本全体の18歳人口が下図に示すように激減する。本PFを構成する私大等の現時点の収容定員充足率は98%であり、定員はほぼ充足しているものの、男女比が男55%、女45%とバランスが十分な状況ではないと認識している。入口（学生募集）と出口（就職）で見ても、県内出身者は全体の51%（2019年度）であるが、卒業時の地元就職は全体の42%（2018年度実績）とやや流出傾向にある。5年後に18歳人口が1割以上減少することを考えると、本地域が学園都市として他の地域に比べて優位性があることを活かした定員充足のための方法論が十分に議論されているとはいえない。また、石川県には、国公立で構成する「大学コンソーシアム石川」が2006年に創設され様々な取り組みがなされているが、その中で私学としての多様性・独自性という観点から足並みを揃えていくことが重要な課題であると捉えている。

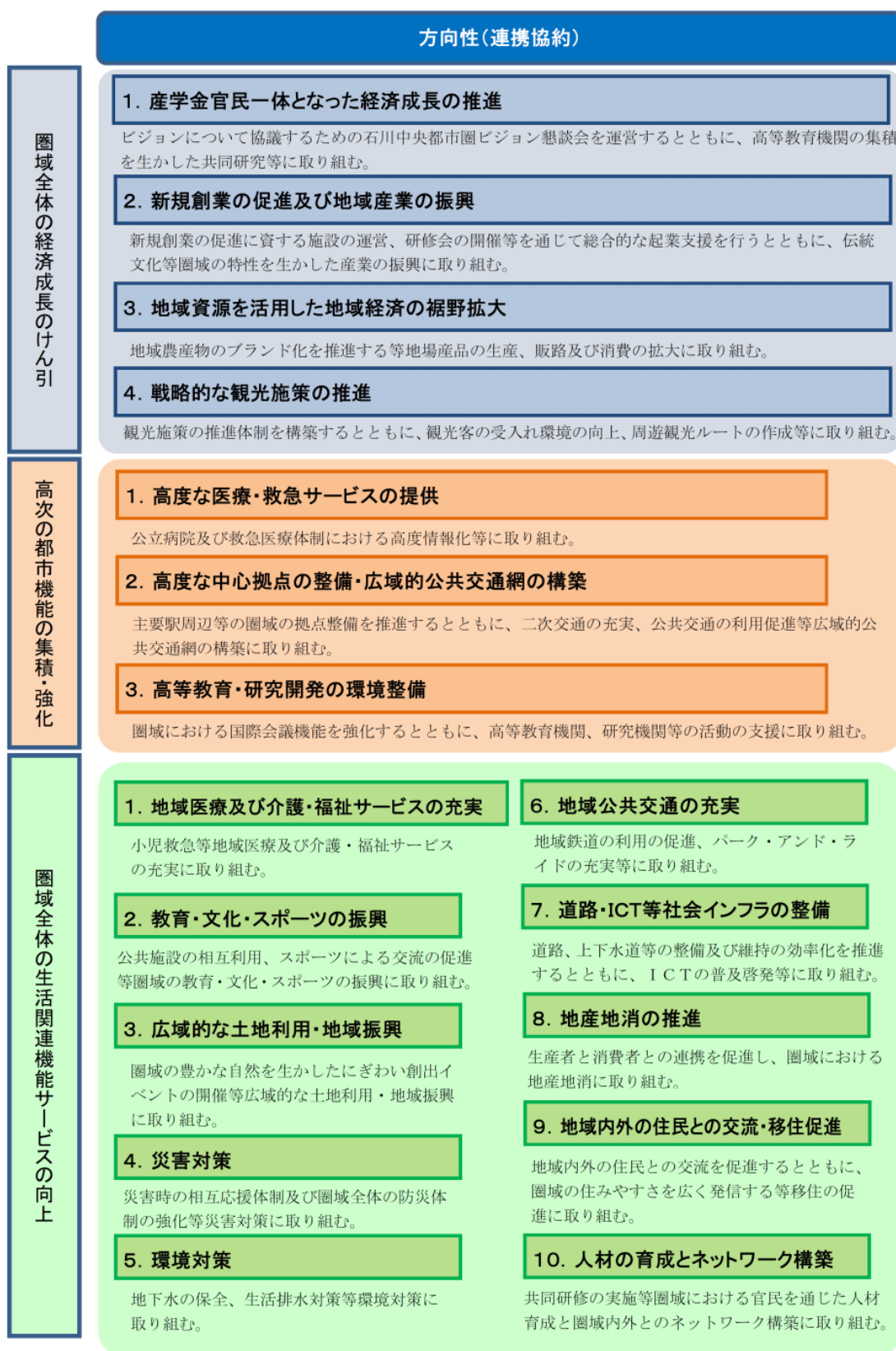


#### 5. 特定地域の現状と課題

石川県の県庁所在地である金沢市を中心として、私大等が在籍するその近隣の白山市・野々市市・内灘町が本PFの特定地域となる。石川中央都市圏では、この3市1町に津幡町・かほく市が追加した形で、時代に即した地域間の連携による自立的な経済・生活圏を形成する連携中枢都市構想が進められている。この4市2町による石川中央都市圏では、「都市と自然、仕事と生活が調和する“住みやすさ”日本一の圏域～交流と連携により、すべてのひとが輝き続ける石川中央都市圏～」を目指すビジョンとして示し、圏域の豊かな自然、都市機能や高等教育機関の集積、伝統文化や歴史的な街並み、医療福祉の充実等の特徴を活かして、少子高齢化、人口流出、社会インフラの老朽化、交通ネットワーク、伝統文化・産業の後継者育成といった課題解決を目指している。

具体的には、圏域内の人口約72.3万人（2010年）が2040年に約66万人まで落ち込むと推定されている人口の減少を約71.8万人に歯止めをかけるべく、17のテーマの連携協約を設定した計画を策定している。その中には「産学金官民一体となった経済成長の推進」が策定されており、高等教育機関への期待が高い。

※「石川中央都市圏ビジョン 2019 年 3 月」より



## 6. 高等教育機関と特定地域の連携

本PFでは、既に各大学等と自治体が連携し基盤を構築している。また、石川県内の大学等の連携による「大学コンソーシアム石川」における国立・公立・私立大学等の連携もすでに展開されている。さらにこれらを発展させるために、本PFによって私大等の足並みを揃え、それぞれの大学等の特色ある活動を推進していくことが、今後の発展の重要なプロセスであるといえる。

	金沢医科大学	金沢学院大学	金沢学院短期大学	金沢工業大学	金沢星稜大学	金沢星稜大学工学部	金城大学	国際高等専門学校	北陸学院大学	北陸学院大学短期大学部	北陸大学	金沢市	白山市	野々市市	内灘町	かほく市	津幡町	金沢商工会議所	白山商工会議所	野々市商工会	大学コンソーシアム石川	石川県防災	いしかわ学本連携推進協議会	放送大学	その他の連携先	地域連携センター		
金沢医科大学	-			教育研究			包括					包括	包括									●	●	協力	●			
金沢学院大学		-											包括	包括	包括								●	●	●	●	小松市、能美市、加賀市、七尾市、石川県立大学、上越教育大学、北陸財源会、JICA	あり
金沢学院短期大学			-										包括	包括	包括								●	●	●	●	小松市、能美市、加賀市、七尾市	
金沢工業大学	教育研究			-			包括	包括	単位互換				包括	包括	包括								●	●	●	●	小松市、加賀市、金沢大学(単位)、北陸先端科学技術大学院大学(単位)、北陸銀行、北陸銀行、北陸地方整備局、金沢高校	
かざわ食マネジメント専門学校													包括										●				金沢高校	
金沢星稜大学					-								包括	包括									●	●	●	●	穴水町、越前市、七尾市、上越教育大学、石川県信用金庫協会、北陸銀行、金沢中心商店街活性化協議会、金沢市立こども図書館	あり
金沢星稜大学女子短期大学部						-																	●	●	●	●		
金城大学	包括				包括		-		包括				包括	包括									●	●	●	●	白山石川医療企業団、北陸銀行、金沢信用金庫、白山市経済団体連絡協議会	
金城大学短期大学部					包括	単位互換		-	包括				包括	包括									●	●	協力	●	白山石川医療企業団	
国際高等専門学校							包括	包括	-														●	●				
北陸学院大学										-			包括										●	●	協力	●	中部学院大学、上越教育大学	あり
北陸学院大学短期大学部											-		包括										●	●		●		
北陸大学	包括										-		包括										●	●	●	●	加賀市、能美市、小矢部市、北陸先端科学技術大学院大学、金沢商業高校、金沢高校、富山第一高校、金沢青年会議所、東六園観光協会、黒家旅館	あり

## 7. 本PFの達成目標

本PFでは、2023年度終了時の達成目標を以下のように定める。

- ① 本PF全ての高等教育機関の定員充足率が100%を維持できている。
- ② 各大学等の資源の共有化ならびに集中を行い、「国際教養課程」の設立準備および試行期間に入っている。
- ③ 産学金官民連携による活動が主体的に行われ、石川中央都市圏ビジョン「産学金官民一体となった経済成長の推進」の目標を達成している。
- ④ 石川中央都市圏が目指す「住みやすさ」ランキングが上昇している。

## 8. 本PFの主な取り組み内容

本PFでは、18歳人口が減少する中で「石川中央都市圏ビジョン(改訂版)」に示されている「住みやすさ日本一の圏域」の具現化の役割を果たし、私大等の安定的な経営と地域に必要とされる大学等を目指して、大学コンソーシアム石川との活動と合わせて、主に次の事項に取り組む。

### ① 教育の質向上に向けた各大学等の資源の共有化ならびに集中に関すること

- ・ 石川中央都市圏が目指す「住みやすさ」に係る共同型PBL授業運営ならびに産学官連携による事業の推進
- ・ 大学等の特色を活かし、多様で、質の高い学びができる私大間の単位互換による学習環境の構築

- ② 類似または異なる専門分野の連携による新たな価値創造に関すること
  - ・ 大学等が連携し、「住みやすさ」に係る産学官連携による社会実装型研究活動の推進
- ③ 「学都金沢」ブランドを発信し、石川県内への進学促進に関すること
  - ・ 県内外の高校生に向けた高等教育機関の広報
  - ・ 定員充足率 100%達成に向けた魅力発信
- ④ 企業・地域住民の主体的な学びを可能とする、多様な学習機会の創出に関すること
  - ・ 初等中等教育への貢献
  - ・ 社会人向けリカレント教育、生涯学習教育の充実
- ⑤ 地元企業の人材確保に関すること
  - ・ 学都金沢版インターンシップ等の促進
  - ・ 学生と企業のマッチング効果向上・ミスマッチの減少
- ⑥ リスクマネジメントに関すること
  - ・ 石川中央都市圏のビジョンにおける災害対策の具体的な連携
- ⑦ 共同 FD/SD に関すること
  - ・ 質の高い教育・研究・サービスに向けて、各大学の資源の共有化と集中を図るための情報共有
  - ・ ①②④における大学間連携・自治体・産業界連携強化に向けた FD 研修
  - ・ ③⑤⑥における自治体・産業界・地域との連携強化に向けた SD 研修
- ⑧ 共同 IR に関すること
  - ・ 学都金沢ブランド力向上に向けた本 PF 内の大学等のデータ分析
  - ・ データを活用した事業改善提案

## 9. 本 PF 活動における指標と目標値

	指標	2018 年度 終了時（現在）	2023 年度 達成目標	取組内容 関連
1	協定校（大学・短大・高専・大学院） <b>定員平均充足率</b> [在籍者数/収容定員数]	0.98 [19,219/19,701]	1.00	①
2	協定校（大学・短大・高専・大学院） <b>年間除籍・退学者数の合計</b>	563	2018 年度の 85%	①
3	地元企業と協定校による <b>受託・共同・ 助成の年間契約合計数</b>	76	2018 年度の 120%	②
4	協定校（大学・短大・高専）の <b>年間受 験者数（のべ）の合計</b>	24,904	2018 年度の 120%	③
5	協定校（大学・短大・高専）の <b>県内・ 県外年間入学者数の割合</b>	県内：県外 =51.5:48.5	県内：県外 =40:60	③
6	協定校（大学・短大・高専）の <b>入学募 集定員平均充足率</b> [入学者数/募集定員]	1.03 [5,085/4,928]	1.00	③
7	<b>複数の協力校（大学・短大・高専）に よる小中高校生向けの公開講座等</b> の 年間開講件数 ※令和元年度 共通設問 26 に準ずる	1 件	5 件	④

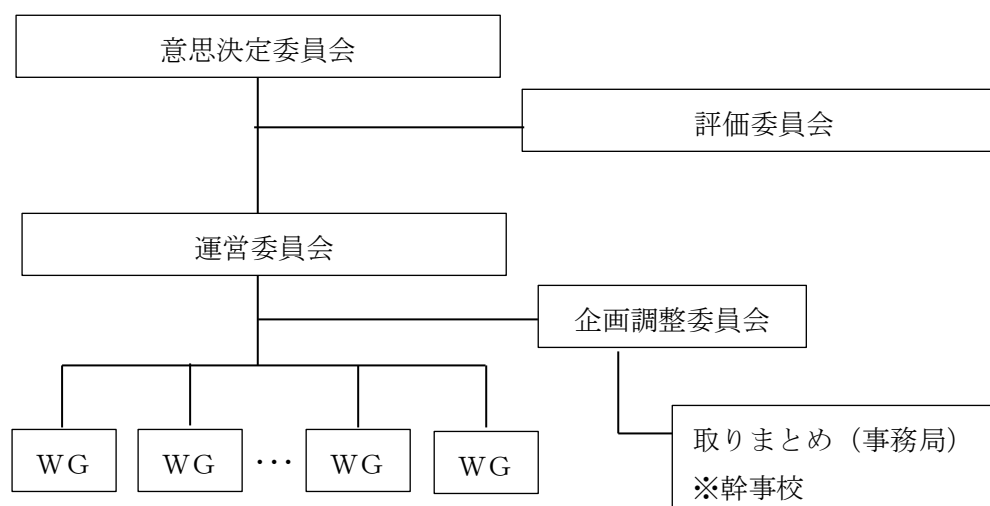
8	複数の協力校（大学・短大・高専）による社会人科目等履修生登録および公開講座受講年間のべ人数 ※令和元年度 共通設問 27・28 に準ずる	科目等履修生 42 公開講座受講数 3,207 (119 講座)	2018 年度の 118%	④
9	協定校（大学・短大・高専）の卒業生に対する地元就職者の割合 [石川県内就職者数/卒業者数] ※インターンシップ参加者数は大学コンソーシアム石川と連携	41.9%	45%以上	⑤
10	リスクマネジメントにおけるリスク対応項目数（累積）	0 個	35 個	⑥
11	共同 FD/SD 年間開催回数	0 回	4 回	⑦
12	共同 IR によるファクトブックの年間発行回数	0 回	1 回以上	⑧

## 10. 本 PF によるアウトカム指標

	指標	2018 年度 終了時（現在）	2023 年度 達成目標
1	PF 共同教育課程科目 年間開講科目数	0 科目	12 大学×3 科目
2	PF 共同教育課程科目 年間履修者数	0 人	全在籍者数の 30% (大学院除く)
3	共同 PBL 授業による課題解決提案テーマ数または実践に対する自治体・産業界からの評価	0 テーマ	12 大学×10 テーマ数
4	「学都金沢」のブランドイメージランキング (京都・岡山・仙台・金沢)	4 位	各種ブランドランキングで、各大学が得意とする分野で <u>上位 10 位以内</u>

## 11. 運営体制

本 PF を運営するための運営協議会として、意思決定委員会、評価委員会、運営委員会、企画調整委員会、ワーキンググループ、事務局を設置する。





### ① 意思決定委員会

各大学等の学長ならびに自治体・産業界の代表者で構成し、事業の実施計画・内容・評価等について審議を行う。委員長については、その都度決める。

### ② 評価委員会

自治体・産業界および企業・地域・教育委員会等による外部評価者が参画し、事業の評価を行う。委員長については、その都度決める。

### ③ 運営委員会

各大学等より選出されたメンバーならびに自治体・産業界の担当で構成し、本 PF の目的達成の具体化に向けた協議、検討を行う。委員長については、幹事校が務める。

### ④ 企画調整委員会

各大学等より選出されたメンバーで構成し、本 PF の企画・調整・各事業の推進を行う。委員長については、幹事校が務める。

### ⑤ ワーキンググループ

事業を実施するために必要な検討と運営を行う。グループは複数の大学等から構成され、事務担当者をつける。

### ⑥ 事務局（幹事校）

各種委員会、ワーキンググループの進捗管理および諸事務を行う。事務局担当校（幹事校）は年度当初に企画調整委員会で決める。

<年度別運営協議会開催スケジュール（予定）>

年度	2019				2020				2021				2022				2023			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
意思決定委員会		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○
運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
企画調整委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 12. 評価体制

【時期】年1回（年度末の3月頃）

【評価体制】

- ① 公開型の活動報告会を開催。プレゼンテーションならびにポスターセッション等で活動報告を行う。
- ② 参加者にアンケート形式で発表内容について評価してもらう。
- ③ 報告会開催後に、評価委員会を開催し、本 PF の意思決定委員会の自己点検に加え、地元企業の代表や教育関係の有識者から活動に対する評価、コメントをいただく。

【評価結果の反映方法】

報告会のアンケート結果ならびに評価委員会での評価内容を企画調整委員会にて確認し、次年度の活動計画に反映する原案を作成し、運営委員会ならびに意思決定委員会にて審査・承認を行う。

### 13. 2019年度～2023年度のロードマップ

#### ① 各年度の主な事業計画

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	最終目標値	
全国18歳人口*	117万人	117万人	114万人	112万人	110万人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・充足率 100%</li> <li>・ブランド力1位</li> <li>・産学官官民事業UP</li> <li>・住みやすさUP</li> </ul>	
石川県18歳人口*	11,062人	10,550人	10,697人	10,225人	99,06人		
①教育の質向上に向けた各大学の資源の共有化ならびに集中に関する事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同型PBL運営のための大学間意見交換</li> <li>・単位互換のための情報収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産学官連携事業の推進</li> <li>・単位互換科目の開講(春期休業)</li> <li>・共通課程開講に向けた文科省との調整</li> </ul>	石川中央都市圏のビジョン更新に合わせた活動計画・指標・目標値等の調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通課程開講に向けたPFの調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通課程開講(試行)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員平均充足→1.00</li> <li>・除籍・退学者数→2018年度の85%</li> </ul>	
②類似または異なる専門分野の連携による新たな価値創造に関する事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学間連携・企業・自治体マッチングのための基盤整備</li> <li>・社会実装型研究活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マッチングのための企画運営</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元企業との受託・共同・助成の契約数→2018年度の120%</li> </ul>
③「学都金沢」ブランドを発信し、石川県内への進学促進に関する事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学間連携体制の構築</li> <li>・大学コンソーシアム石川と連携した広報活動実践</li> <li>・共有HPの公開・情報更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PF主催の説明会等の実施</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・受験者数→2018年度の120%</li> <li>・県内・県外年間入学者数の割合→県内：県外 = 40:60</li> <li>・入学募集定員平均充足率→1.00</li> </ul>
④企業・地域住民の主体的な学びを可能とする、多様な学習機会の創出に関する事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象別の各大学の提供科目、公開講座等の調査</li> <li>・告知、募集に関する企画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学間連携事業の企画運営</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中高校生向けの公開講座等の年間開講数→5件</li> <li>・社会人科目等履修生登録および公開講座受講年間のべ人数→2018年度の500%</li> </ul>
⑤地元企業の人材確保に関する事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業界との意見交換・連携体制の構築</li> <li>・産業界のニーズ調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産学連携による事業の企画・運営</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元企業インターンシップ参加数</li> <li>・地元就職(大学コンソーシアム石川との連携)</li> </ul>
⑥リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石川中央都市圏との連携体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害や防災等に関するマシメント、活動指針の作成</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動指針の公開</li> <li>・共同防災訓練等の官学連携の企画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官学連携事業の運営</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスク対応項目数→40件(のべ)</li> </ul>
⑦共同FD/SD	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FD研修会の企画・運営</li> <li>・SD研修会の企画・運営</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同FD/SD年間開催回数→12回/年</li> </ul>
⑧共同IR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各大学の基本データの共有と分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的なデータ収集方法の検討</li> <li>・データを活用した事業改善提案</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同IRによるファクトブックの年間報告回数→1回以上/年</li> </ul>

※18歳人口の推移

全国：文部科学省より

[http://www.mext.go.jp/component/a\\_menu/education/detail/\\_icsFiles/afieldfile/2018/02/16/1401001\\_4.pdf](http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2018/02/16/1401001_4.pdf)

石川県：リクルート進研総研より

<http://souken.shingakunet.com/research/2017/01/182016-2f2f.html>

② 各年度の活動指標と目標値

	指標	2018年度 終了時	2019年度 達成目標値	2020年度 達成目標値	2021年度 達成目標値	2022年度 達成目標値	2023年度 達成目標値	取組内容 関連
1	協定校（大学・短大・高専・大学院） <b>定員 平均充足率</b> [在籍者数/収容定員数]	0.98 [19,219/19,701] (2019.9.1)	1.00 (2020.5.1)	1.00 (2021.5.1)	1.00 (2022.5.1)	1.00 (2023.5.1)	1.00 (2024.5.1)	①
2	協定校（大学・短大・高専・大学院） <b>年間 除籍・退学者数の合計</b>	563 ※カッコは2018年度比 (2019.3.31)	552 (98%) (2020.3.31)	535 (95%) (2021.3.31)	524 (93%) (2022.3.31)	507 (90%) (2023.3.31)	479 (85%) (2024.3.31)	①
3	地元企業と協定校による <b>受託・共同・助成 の年間合計契約数</b>	76 ※カッコは2018年度比 (2019.3.31)	76 (100%) (2020.3.31)	80 (105%) (2021.3.31)	84 (110%) (2022.3.31)	88 (115%) (2023.3.31)	92 (120%) (2024.3.31)	②
4	協定校（大学・短大・高専・大学院） <b>年間 受験者数（のべ）の合計</b>	24,904 ※カッコは2018年度比 ※2019年度入学生 (2019.5.1)	25,403 (102%) ※2020年度入学生 (2020.5.1)	26,149 (105%) ※2021年度入学生 (2021.5.1)	26,897 (108%) ※2022年度入学生 (2022.5.1)	27,395 (110%) ※2023年度入学生 (2023.5.1)	29,885 (120%) ※2024年度入学生 (2024.5.1)	③
5	協定校（大学・短大・高専） <b>県内・県外 間入学者数の割合</b>	県内：県外 =51.5:48.5 ※2019年度入学生 (2019.5.1) 大学院除く	県内：県外 =50:50 ※2020年度入学生 (2020.5.1)	県内：県外 =47:53 ※2021年度入学生 (2021.5.1)	県内：県外 =44:56 ※2022年度入学生 (2022.5.1)	県内：県外 =42:58 ※2023年度入学生 (2023.5.1)	県内：県外 =40:60 ※2024年度入学生 (2024.5.1)	③
6	協定校（大学・短大・高専） <b>入学募集定員 平均充足率</b> [入学者数/募集定員]	1.03 [5085/4928] ※2019年度入学生 (2019.5.1)	1.00 ※2020年度入学生 (2020.5.1)	1.00 ※2021年度入学生 (2021.5.1)	1.00 ※2022年度入学生 (2022.5.1)	1.00 ※2023年度入学生 (2023.5.1)	1.00 ※2024年度入学生 (2024.5.1)	③
7	<b>複数の協力校</b> （大学・短大・高専）による <b>小中高校生向けの公開講座等の年間開講件 数</b> ※共通設問26に準ずる	1件 (2019.3.31)	1件 (2020.3.31)	2件 (2021.3.31)	3件 (2022.3.31)	3件 (2023.3.31)	5件 (2024.3.31)	④
8	<b>複数の協力校</b> （大学・短大・高専）による <b>社会人科目等履修生登録および公開講座受 講年間のべ人数</b> ※共通設問27・28に準ずる	科目等履修生 42 公開講座受講数 3,207(119講座) ※カッコは2018年度比 (2019.3.31)	51 3,849 (120%) (2020.3.31)	63 4,810 (150%) (2021.3.31)	50 3,800 (118%) ※04の影響によ る修正 (2022.3.31)	50 3,800 (118%) (2023.3.31)	50 3,800 (118%) (2024.3.31)	④
9	協定校（大学・短大・高専）の卒業生に対 する <b>地元就職者の割合</b> [石川県内就職者数/卒業者数]	41.90% (2019.3.31) 大学院除く	40%以上 (2020.3.31)	40%以上 (2021.3.31)	50%以上 (2022.3.31)	45%以上 (2023.3.31)	45%以上 (2024.3.31)	⑤
10	リスクマネジメントにおけるリスク対応項 目数（累積）	0個 (2019.3.31)	2個 (2020.3.31)	10個 (2021.3.31)	20個 (2022.3.31)	30個 (2023.3.31)	35個 (2024.3.31)	⑥
11	共同FD/SD 年間開催回数	0個 (2019.3.31)	2回 (2020.3.31)	4回 (2021.3.31)	4回 (2022.3.31)	4回 (2023.3.31)	4回 (2024.3.31)	⑦
12	共同IRによるファクトブックの年間報告回 数	0個 (2019.3.31)	1回 (2020.3.31)	1回 (2021.3.31)	1回 (2022.3.31)	1回 (2023.3.31)	1回以上 (2024.3.31)	⑧

※目標値を一部改訂（青字）

参考：ワーキンググループの設置

検討・運営WG		担当校 (★は取りまとめ校)	2020年度 主な内容	取組 関係
共同PBL運営検討WG	A	★金城大・短大、 金沢工大、国際高専	共通テーマ、授業運営体制の 検討、自治体との意見交換	①
単位互換検討WG	A	★金沢工大、 金城大・短大、国際高専	モデル校間科目開講調整	①
専門連携・産学連携研究促進 WG	B	★星稜大・短大、 金沢学院大・短大	共同研究状況の把握、産業界 との意見交換、推進方法の検 討	②
入学者促進WG	C	★北陸学院大・短大、 北陸大、金沢医科大、 かなざわ食マネ専門職大	共同学生募集（コンソ）の状 況把握、共同ニーズ調査	③
小中高・一般・企業向け学習 支援 WG	C	★北陸大、 北陸学院大・短大、金沢医科大 かなざわ食マネ専門職大	小中高校向け企画検討、リカ レント教育推進	④
地元就職促進WG	B	★金沢学院大・短大、 星稜大・短大	産業界との意見交換、マッ チングの検討	⑤
リスクマネジメント検討 WG	D	★金沢医科大、金沢工大	具体的な取り組み項目の選 定、自治体との意見交換	⑥
共同FD/SD 事業WG		★幹事校（金沢工大）、全大学等	交流、スキルアップ等の企画 の検討、実施	⑦
共同IR事業WG		★幹事校（金沢工大）、全大学等	各大学のポートレート分析、 各種データ収集・分析	⑦

グループA 金沢工業大学、金城大学・短大、国際高等専門学校

グループB 金沢学院大学・短大、金沢星稜大学・短大

グループC 金沢医科大学、北陸学院大学・短大・北陸大学、かなざわ食マネ専門職大

グループD 金沢医科大学、金沢工業大学

※各グループにおける責任者については、★印の大学等より選出すること。

※2023年度より「かなざわ食マネジメント専門職大学」がワーキング活動に参画

以上

## ■参加大学等一覧

大学等名	住所	担当部署
金沢医科大学	〒920-0265 石川県河北郡内灘町大学 1 丁目 1 番地	学事部 076-286-2211 (内線2411)
金沢学院大学	〒920-1392 石川県金沢市末町 10	財務部 076-229-8817
金沢工業大学	〒921-8501 石川県野々市市扇が丘 7-1	共創教育推進室 076-294-6740
金沢星稜大学	〒920-8620 石川県金沢市御所町丑 10 番地 1	事務局 076-253-3924
金城大学	〒924-8511 石川県白山市笠間町 1200	総務企画部 076-225-3442
北陸学院大学	〒920-1396 石川県金沢市三小牛町イ 11 番地	総合政策課 076-280-3858
北陸大学	〒920-1154 石川県金沢市太陽が丘 1-1	産学官・地域連携推進部 076-229-1161
かなざわ食マネジメント専門職大学	〒924-0011 石川県白山市横江町 8 街区 1	事務局 076-275-5933
金城大学短期大学部	〒924-8511 石川県白山市笠間町 1200	総務企画部 076-225-3442
金沢学院短期大学	〒920-1392 石川県金沢市末町 10	財務部 076-229-8817
金沢星稜大学女子短期大学部	〒920-8620 石川県金沢市御所町丑 10 番地 1	事務局 076-253-3924
北陸学院大学短期大学部	〒920-1396 石川県金沢市三小牛町イ 11 番地	総合政策課 076-280-3858
国際高等専門学校	〒921-8601 石川県金沢市久安 2-270	事務局 076-248-1080

## ■協力自治体

自治体名	住所	担当部署
金沢市	〒920-0962 石川県金沢市広坂 1-1-1	都市政策局企画調整課
白山市	〒924-8688 石川県白山市倉光二丁目 1 番地	企画振興部協働推進課
野々市市	〒921-8510 石川県野々市市三納 1 丁目 1 番地	企画振興部企画課
内灘町	〒920-0292 石川県河北郡内灘町字大学 1 丁目 2 番地 1	都市整備部企画課

## ■協力産業界

団体・企業名等	住所	会員数
金沢商工会議所	〒920-0918 石川県金沢市尾山町9番13号	5,844社
白山商工会議所	〒924-0871 石川県白山市西新町159-2	1,649社
野々市市商工会	〒921-8821 石川県野々市市白山町8-16	947社
一般財団法人北陸産業活性化センター	〒920-0981 石川県金沢市片町二丁目2番15号	51社

## ■沿革

2018年 9月 10 大学による「金沢市近郊 私立大学等特色化推進プラットフォーム」連携協定締結（金沢医科大・金沢学院大学・金沢工業大学・金沢星稜大学・金城大学・北陸学院大学・金沢学院短期大学・金沢星稜大学女子短期大学部・金城大学短期大学部・国際高等専門学校）

金沢市・白山市・野々市市・金沢商工会議所・白山商工会議所・野々市市商工会・北陸産業活性化センターより協力同意を得る

2019年 9月 金沢医科大学・北陸大学 を追加した12大学による「金沢市近郊 私立大学等特色化推進プラットフォーム」連携協定締結

内灘町を追加した3市1町、4産業団体からの協力同意を得る

2021年 10月 かなざわ食マネジメント専門職大学が追加参画